



小栗キャップの News Letter

税理士法人オグリ 代表社員・税理士 小栗 悟

岐阜本部 〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町 1-3 岐阜第一生命ビル 4F

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

名古屋本部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内一丁目 16-15 名古屋フコク生命ビル 6F

TEL : 052-222-1600 FAX : 052-222-1611

Email : info@otc-oguri.com <http://www.otc-oguri.com>

2019年6月10日(月)

3C分析の活用

「3C分析」は経営戦略の策定・目標管理制度における目標設定などのビジネスシーンでよく使われ、右図のフレームワークに示したように、自社が事業を行うビジネス環境について市場・顧客、競合、自社の相互関係を分析し、自社が事業を行うビジネス環境での成功要因（KSF）を導き出すことを目的として使われます。

3C分析の活用法

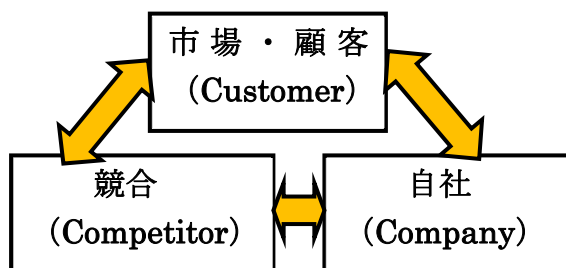
「3C分析」では、次の分析、検討を行います。

1	自社の事業領域における市場・顧客の変化を観察する。
2	自社の市場・顧客の変化への対応状況を自己評価する。
3	競合の市場・顧客の変化への対応状況を自社と比較評価する。
4	上記の結果から、自社のKSFを導き出し、事業戦略を構築する。

分析で陥り易い問題点と対策

「3C分析」で陥り易い問題は、観察するデータが大変多く、それらの分析・評価に多くの時間を要し、分析の的確性・効率性を失いやすい点にあります。

【3C分析のフレームワーク】



【分析の問題点と対策】

観察データが多いことと、観察力・評価力に関連して、次のような問題点と対策を必要とします。

問題点	対策
重要な事実の見落とし。	・三現主義に徹する。 ・複眼で観察する。
的確な評価ができない。	衆目評価法を用いる。

経営者・管理者の留意点

「三現主義」と「衆目評価法」は、チームワークによる観察・評価において、不可欠であると言えます。ファシリテーションを活用し、複数の関係者の衆知を集めることが成功要因となります。



三現主義と衆目評価法が鍵！